

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算 科目			事業名	事業の目的および概要	対象者					実施 年次	実施計画			目標（達成時期：平成29年度末）			
					資格	対象 事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム		
職場環境の整備																	
（予 算 措 置 な し ）	7	新規	事業所ごとの傾向把握	【目的】事業所にあった健康づくりの提案。 【概要】事業所ごとの健診データ等を分析し、傾向を把握。	被保険者	全て	男女	16	～	74	全員	1	データの取集と解析。事業所を任意抽出し、健診結果等の分析を行い、有効性の確認を行う。	サンプリングの実施とその評価。	情報の提供。	任意抽出の後、全事業所の分析を行う。	事業所の傾向を把握し、情報を提供する。
加入者への意識づけ																	
保健 指導 宣 伝	7	既存	医療費通知	【目的】医療機関等からの請求の確認。 【概要】医療費通知を年2回発行し、事業所経由で配布。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1	医療機関等を受診した全員に対して医療費通知を行う。	継続	継続	全員に通知を行なう。	医療費の把握。
	7	既存	後発医薬品の使用促進と差額通知の発行	【目的】後発医薬品の使用促進。 【概要】一定の削減額が見込まれる者に対し実施。（注射薬、急性期、がん・精神疾患等の医薬品を除く）	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	基準 対象者	1	後発医薬品の使用促進。	継続	継続	対象者全員に通知。	医療費の抑制。
個別の事業																	
特定 健康 診 査 事 業	1	既存（法定）	特定健康診査（被保険者）	【目的】メタボリックシンドロームの原因となる生活習慣病の改善、糖尿病、高血圧症、脂質異常などの有病者・予備群の減少。 【概要】第2期特定健康診査等実施計画に基づき、生活習慣病の有病者・予備群となる特定保健指導対象者を抽出し、階層化を行う。	被保険者	全て	男女	40	～	74	全員	3	健診事業の案内、契約病院の見直しを行う。	継続	継続	特定健康診査受診の促進。 *第二期 特定健康審査等実施計画。 （実施率目標92.5%）	受診者の健康維持、向上。 医療費の削減。
	1	既存（法定）	特定健康診査（被扶養者）	【目的】同上（被保険者対象の事業と同じ） 【概要】同上（被保険者対象の事業と同じ）	被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	1	従来の案内の検討（改修、リニューアル等）	前年度の効果の検証	前年度の効果の検証と修正。	特定健康診査受診の促進 *第二期 特定健康審査等実施計画。 （実施率目標64.4%）	受診者の健康維持、向上。 医療費の削減。
特定 保健 指導	3	既存（法定）	特定保健指導	【目的】特定健康診査の結果を理解し、生活習慣等を改善するための行動目標を設定し、実践できるよう支援することで、生活習慣病を予防する。 【概要】特定健康診査の実施結果により、生活習慣改善の保健指導が必要な階層に対して、保健指導（情報提供・動機づけ支援・積極的支援）を実施する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準 対象者	1	事業所と連携して対象者の指導。 健保連静岡の共同事業の利用（被扶養者）。	継続	継続	動機付け支援実施率 30.0% 積極的支援実施率 30.2%	終了者数（30.2%）

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算 科目		事業名	事業の目的および概要	対象者						実施 主	実施計画			目標（達成時期：平成29年度末）			
				資格	対象 事業所	性別	年齢				対象者	平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム	
事業	2	新規	重症化予防に資する受診勧奨通知の発行	【目的】重症化の予防と医療費に対する意識の向上。 【概要】ハイリスク加入者に対する受診勧奨通知を作成し、健康管理指導員による訪問指導の際に活用する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	16	～	74	基準 対象 者	1	対象者の抽出と通知の活用。	効果検証、継続	効果検証、継続	受診勧奨通知を作成と活用。	重症化の回避と医療費の削減。
	3	既存	健保だより	【目的】情報発信と健康の推進。 【概要】「健保だより」などの広報紙を手作りで作成し広報、必要に応じ各種リーフレットを配布する。	被保険者	全て	男女	16	～	74	全員	1	組合内で内容の企画、作成を行い、時節にあつた情報を提供する。	継続	継続	定期的な発行。	各種情報の理解。 健康意識の向上。
疾病 予防	1	既存	生活習慣病予防健診	【目的】生活習慣病予防健診として実施、 疾病の早期発見・早期治療を促す。 【概要】基本健診と追加健診の実施する。	被保険者	全て	男女	16	～	74	全員	3	疾病の早期発見・早期治療を促す。 （継続実施）	継続	継続	実施の促進。	医療費の削減。
	1	既存	人間ドック	【目的】人間ドックの利用者に補助を行い、 健康に対する自己管理意識の高揚を図る。 【概要】契約の医療機関が実施する人間 ドックの利用者に年1回、補助を行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	1	補助内容は継続。案内の改修	継続	継続	人間ドック実施の促進。	早期発見・早期治療により 医療費の削減。
	7	既存	インフルエンザ [*] 予防接種	【目的】インフルエンザの予防。 【概要】インフルエンザ予防接種者に補助を 行う。 【目的】医療費の削減と健康管理。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1	継続	継続	継続	補助事業の継続。	インフルエンザ罹患患者の減少。
	7	既存	家庭常備薬品等の斡旋	【概要】家庭常備薬品等を安価に斡旋する。	被保険者	全て	男女	16	～	74	全員	1	継続	継続	継続	－	－

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他
注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業